

参 考 资 料

(仮称) 岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針検討委員会要綱

(設置)

第1条 (仮称) 岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針の策定に関する協議及び検討を行うため、「(仮称) 岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針検討委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、検討を行う。

- (1) 岐阜市のユニバーサルデザイン推進の基本的な考え方及び取り組むべき方策等に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、ユニバーサルデザインの推進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員12名以内で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
 - (2) ユニバーサルデザインに関する事業に従事する者
 - (3) ユニバーサルデザインに関する団体に所属する者
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者
- 2 委員の任期は、委嘱の日から1年以内とする。ただし、補欠の委員が選任された場合は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長は委員の互選により定め、副委員長は委員長が指名する。
- 4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、企画部企画調整課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

(仮称) 岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針検討委員会の概要

【審議内容】

岐阜市のユニバーサルデザイン推進の基本的な考え方及び取組むべき方策等に関する協議及び検討を行う。

【委員任期】

平成 21 年 5 月 28 日～平成 22 年 5 月 27 日

【委員名簿】

職	氏名	所 属
委員長	石松文佳	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
副委員長	奥村和則	岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科講師
委員	下川滝美	(社)岐阜県建築士会
委員	栗本敏樹	岐阜乗合自動車株式会社
委員	小野新吾	岐阜市老人クラブ連合会会長
委員	鈴木一子	岐阜市女性の会連絡協議会会長
委員	酒井智子	岐阜市青年団体連絡協議会
委員	松井逸朗	岐阜市身体障害者福祉協会会長
委員	前田光雄	岐阜市視覚障害者福祉協会
委員	田中誠一	岐阜市聴覚障害者福祉協会会長
委員	大野えりな	外国人によるまちづくり会議委員長

事務局	企画部企画調整課
-----	----------

検討委員会の様子



岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針の策定経過

検討委員会	庁内検討会議	
	部長級	関係課担当者
	平成 21 年 5 月 18 日 第 1 回庁内検討会議 ・本市の取組状況について ・指針策定の目的について	
平成 21 年 5 月 28 日 第 1 回検討委員会 ・ユニバーサルデザインの概要について ・今後のスケジュールについて		
		平成 21 年 6 月 29 日 第 2 回庁内検討会議 ・指針策定の目的について
平成 21 年 7 月 30 日 第 2 回検討委員会 ・市民アンケート結果について ・理念、目標、施策の検討		
		平成 21 年 8 月 19 日 第 3 回庁内検討会議 ・市民アンケート結果について ・他都市の取組について
平成 21 年 10 月 5 日 第 3 回検討委員会 ・指針の素案について		
		平成 21 年 10 月 16 日 第 4 回庁内検討会議 ・指針の素案について
	平成 21 年 11 月 2 日 第 5 回庁内検討会議 ・指針の素案について	
平成 21 年 11 月 16 日 第 4 回検討委員会 ・指針(案)について		
平成 22 年 2 月 22 日～3 月 12 日 パブリックコメントの実施		

ユニバーサルデザイン市民アンケート調査結果

【調査の目的】

「岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針」を策定するにあたり、市民が日常生活の中で感じている意見等を把握し、基礎資料を得ることを目的としています。

【調査期間】

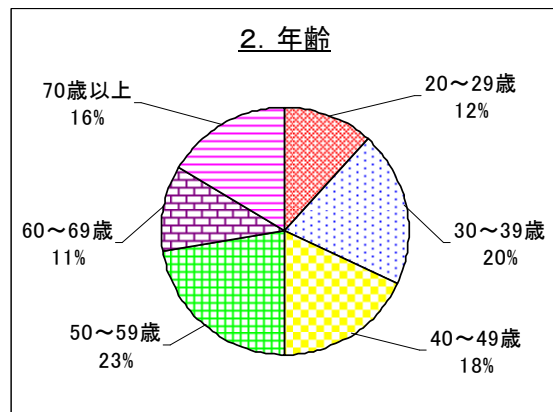
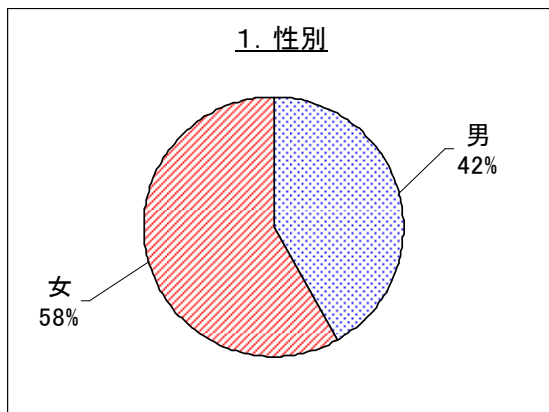
平成 21 年 5 月 15 日～平成 21 年 6 月 5 日

【調査対象者】

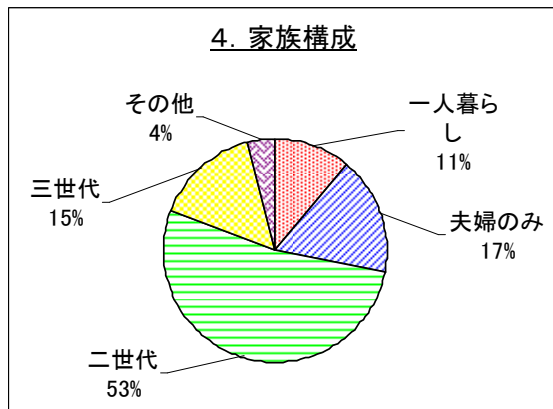
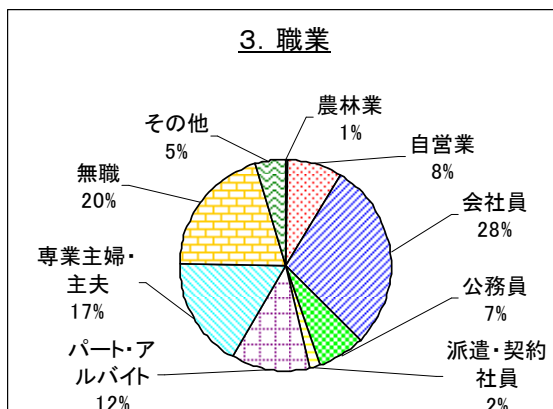
20 歳以上の市内居住者で、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上の各階層から男女各 100 人（計 1,000 人）を無作為抽出

【回収状況】

配布数：1,000 通、回収数：390 通（回収率 39%）

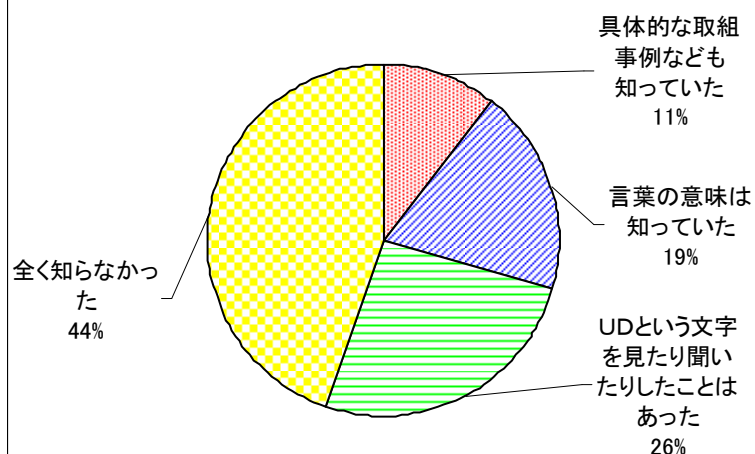


- ・性別は、「男性」が約4割、「女性」が約6割となっています。
- ・年齢は、60歳以上が約3割と多く、20歳代が約1割となっています。



- ・職業は、「会社員」が28%と最も多く、次いで「無職」、「専業主婦・主夫」がそれぞれ約2割となっています。
- ・家族構成は「二世世代」が最も多く、53%と約半分を占めています。次いで、「夫婦のみ」、「三世世代」がそれぞれ約2割となっています。

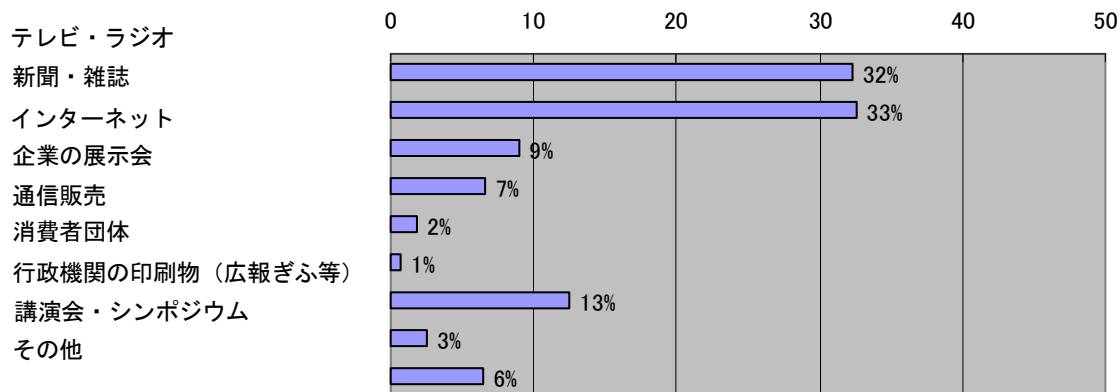
5. UDの認知度



Q.あなたは「ユニバーサルデザイン（UD）」という言葉についてどの程度ご存知でしたか。

- ・全体の約6割の方がユニバーサルデザインという言葉を見たり聞いたりしたことがあることが分かります。
- ・全体の7割の方がユニバーサルデザインの考え方を理解していないことが分かります。

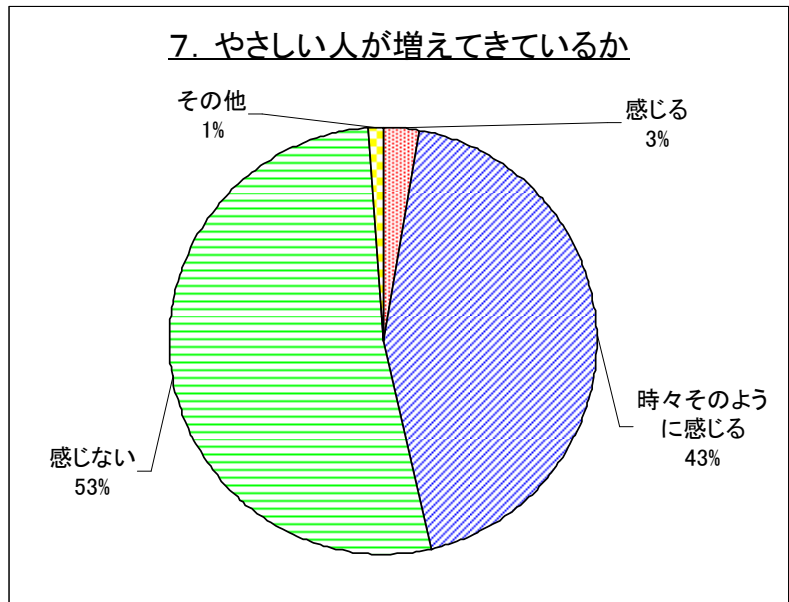
6. UDに関する情報の入手先



Q.ユニバーサルデザイン（UD）に関する情報について、どのようなところで見聞きしたことがありますか。

- ・情報の入手先は「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」が多く、それぞれ約3割となっています。近年、主要なメディアとなった「インターネット」は約1割となっています。

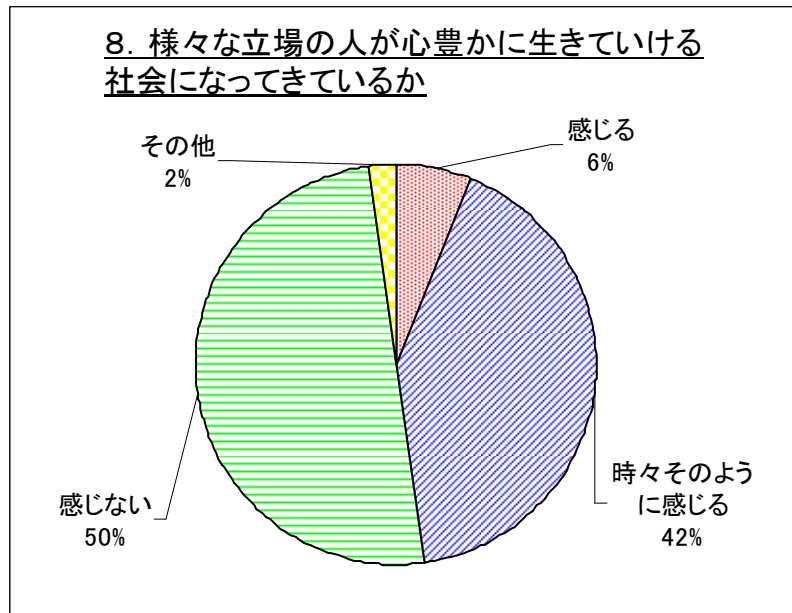
7. やさしい人が増えてきているか



Q.困っている人に声をかけたり、席を譲るなど、思いやりのある心やさしい人が増えてきていると感じますか。

・「感じない」が53%、「時々そのように感じる」が43%で、回答者の多くが、やさしい人間が増えているとは感じていないことが分かります。

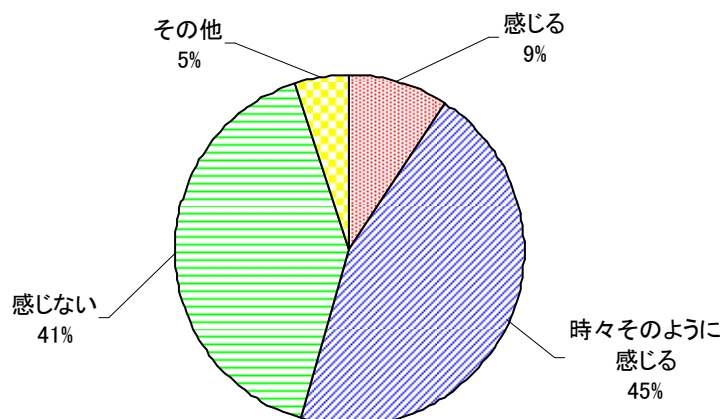
8. 様々な立場の人が心豊かに生きていける社会になってきているか



Q.高齢者、障がい者、妊産婦、外国人など、いろいろな立場の方々が生活する上で困らずに、心豊かに生きていける社会になってきていると感じますか。

・「感じない」が50%、「時々そのように感じる」が42%で、回答者の多くが、様々な立場の方が生活しやすい社会になっているとは感じていないことが分かります。

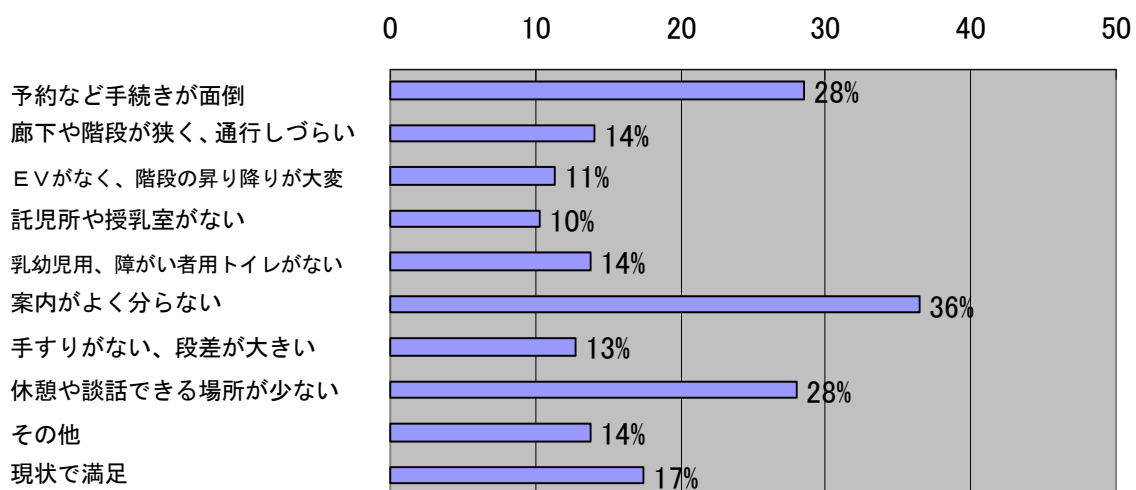
9. 公共施設の職員等から思いやりを感じるか



Q.市役所・事務所・公民館などの公共施設の職員や利用者などから思いやりの気持ちを感じますか。

・「感じない」が41%、「時々そのように感じる」が45%で、回答者の多くが、公共施設の職員や利用者から思いやりの気持ちを感じていないことが分かります。

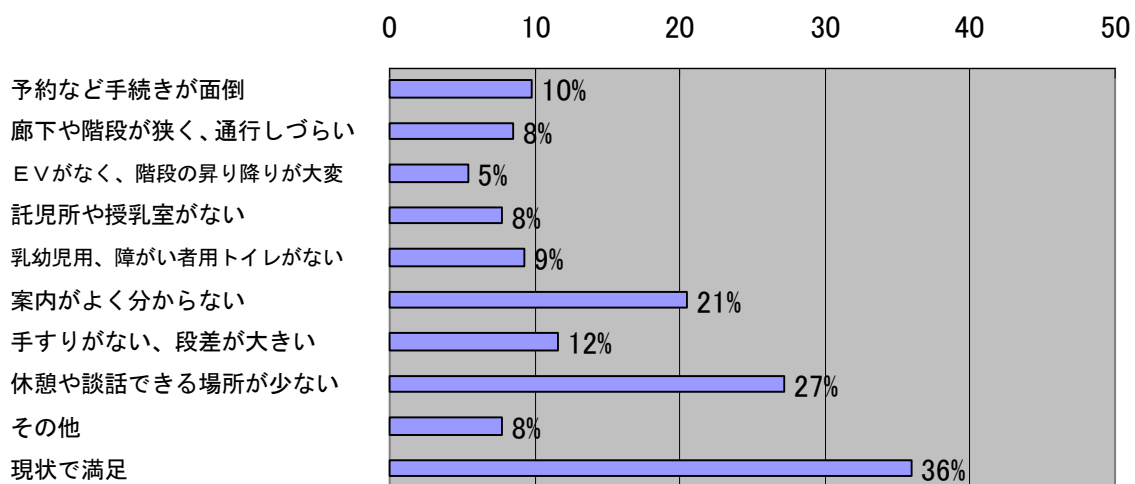
10. 公共施設で不便に感じること



Q.あなたは、日頃よく利用する公共施設において困ったことや不便に感じたことはありますか。

・「案内がよく分らない」が36%と最も多く、「手続きが面倒」、「休憩や談話できる場所が少ない」もそれぞれ約3割となっています。

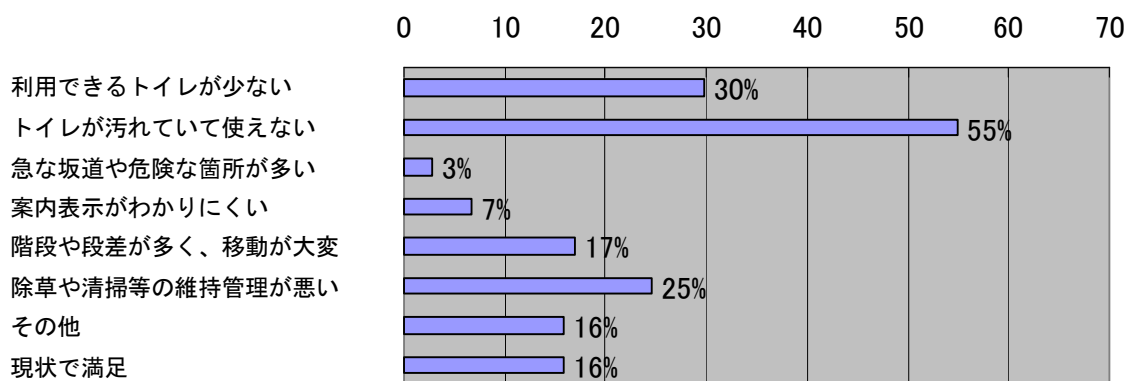
11. 民間施設で不便に感じること



Q.あなたは、日頃よく利用する民間施設（映画館やホテル、デパート等）において困ったことや不便に感じたことはありますか。

・「現状で満足」が36%と最も多く、次いで「休憩や談話できる場所が少ない」が27%、「案内がよく分からない」が21%となっています。公共施設と比べて、満足度が高いことが分かります。

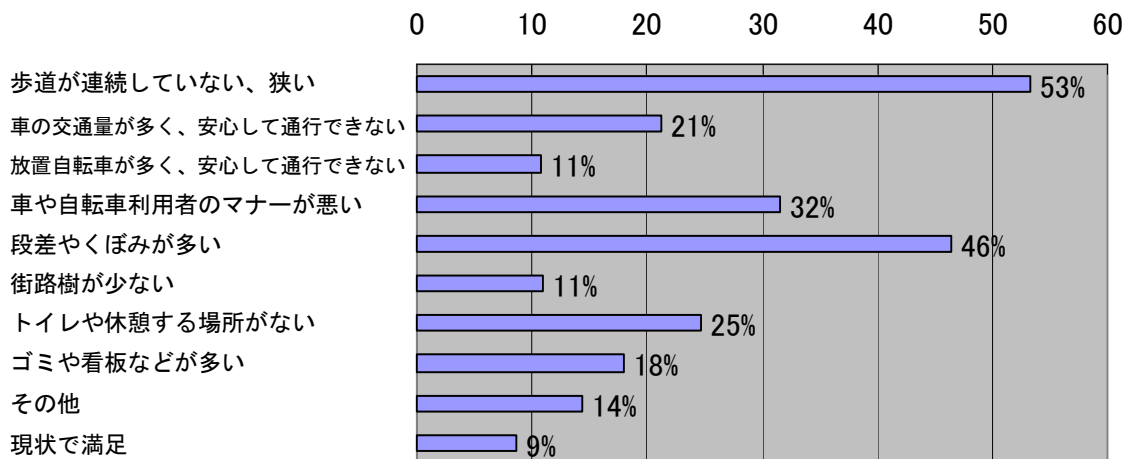
12. 公園で不便に感じること



Q.あなたは、日頃よく利用する公園について困ったことや不便に感じたことはありますか。

・「トイレが汚れていて使えない」が55%と突出しています。次いで「利用できるトイレが少ない」、「除草や清掃等の維持管理が悪い」がそれぞれ約3割となっています。トイレに関する不満が多いことが分かります。

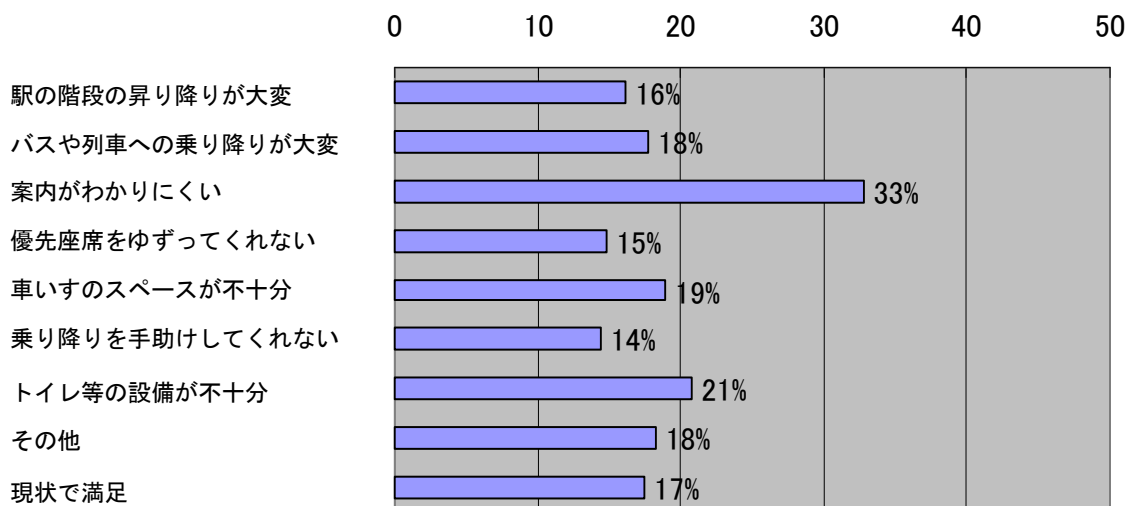
13. 道路で不便に感じること



Q.あなたは、日頃よく利用する道路（歩道）について困ったことや不便に感じたことはありますか。

・「歩道が連続していない、狭い」が53%と最も多く、「段差やくぼみが多い」が46%となっています。また、「車や自転車利用者のマナーが悪い」が32%あり、施設だけではなく、利用する側にも問題があると感じていることが分かります。

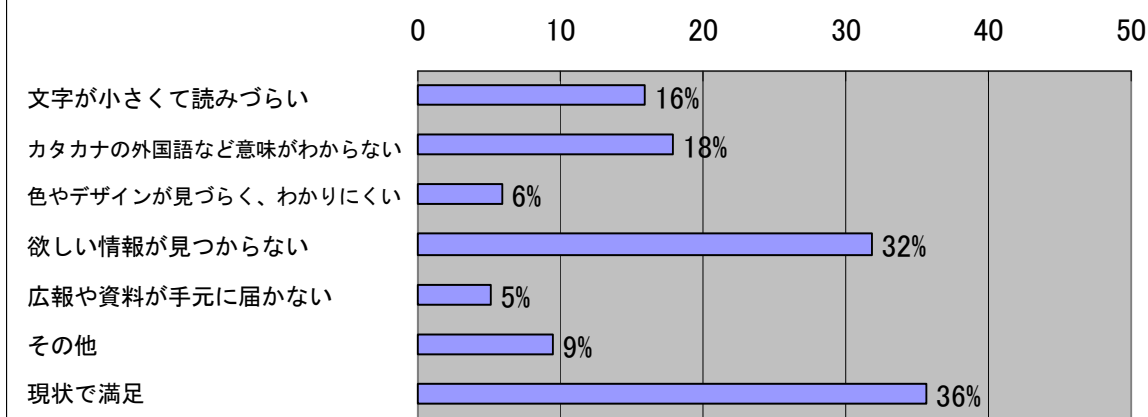
14. 駅や電車、バスで不便に感じること



Q.あなたは、駅や電車、バスを利用する際に困ったことや不便に感じたことはありますか。

・「案内がよく分からない」が33%と最も多く、その他の項目はそれぞれ約2割となっています。

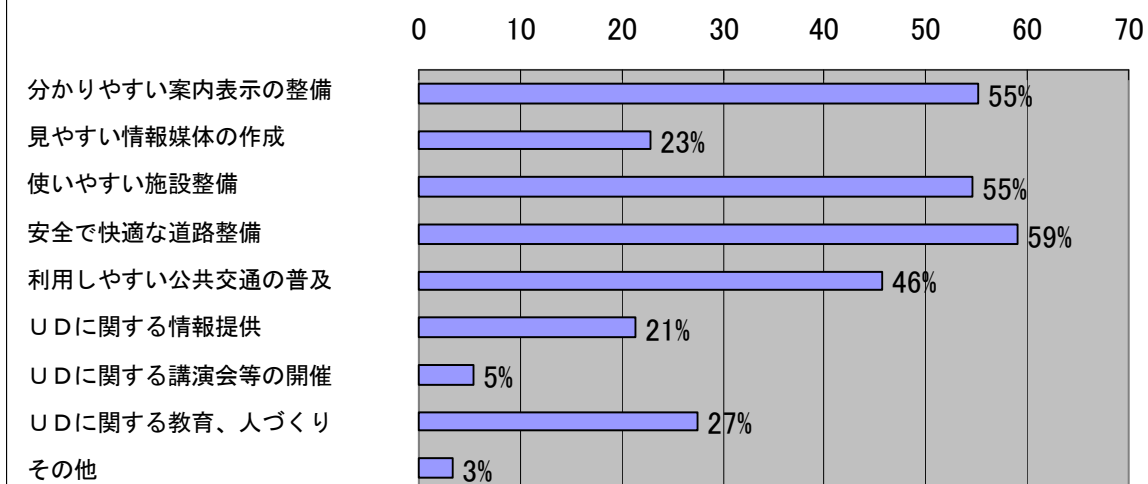
15. 岐阜市の広報紙やHPで不便に感じること



Q.あなたは、岐阜市の広報紙やホームページなどで、困ったことや不便に感じたことはありますか。

- ・「現状で満足」が36%と最も多く、「欲しい情報が見つからない」が32%あります。より見やすいホームページ等の作成が求められていることが分かります。

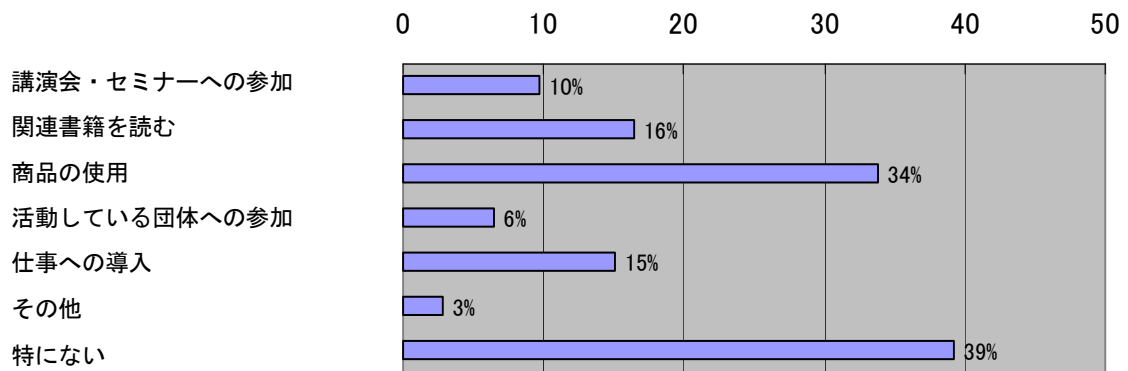
16. UDを推進する上で取組むべきこと



Q.あなたはユニバーサルデザイン（UD）を推進していく上で、どのようなことから取組むべきと思いますか。

- ・「安全で快適な道路整備」が59%と最も多く、「分かりやすい案内表示の整備」、「使いやすい施設整備」、「利用しやすい公共交通の普及」もそれぞれ半分程度あります。ソフト的な取組よりも、施設整備に関する要望が多いことが分かります。

17. 市民がUDについて取組みたいこと



Q.あなた自身がユニバーサルデザイン（UD）について取組みたいものはありますか。

・「特にない」が39%と最も多く、次いで「商品の使用」が34%あります。市民自身がユニバーサルデザインの取組を行う意識が低いと思われます。

自由意見

Q. 岐阜市を誰もが暮らしやすく過ごしやすいまちにしていくために、「ユニバーサルデザイン」のまちづくりをどのように進めていけばよいと思いますか。

施設に関する意見

【道路】

- 全ての人安心・安全に生活するために、まず十分な広さの歩道を作ってほしい。
- 足の不自由な人や車いすの人のために、段差のない道を多くしてほしい。
- 車や自転車のマナーが悪く、歩行者の安全が確保されることが大切である。

【公園】

- 除草や掃除等に市民が参加して美しい公園にしてほしい。
- 車いす、ベビーカーなどのために、階段の横にスロープをつけると良い。

【公共交通】

- 交通機関の乗車降車が分かりやすい表示板を設置する。
- 高齢者が多くなる社会においては、高齢者の交通手段の確保が大切である。
- バスの運転手の運転やマナーが悪くなった。
- 低床バスは乗降しやすいのでありがたい。

情報に関する意見

【広報紙・HP・公文書】

- 横文字（英語、カタカナ）などは分かりにくいので、日本語で分かりやすく書かれたほうが、年輩の方や子どもには理解しやすいと思う。
- 文字はなるべく大きくしてほしい。
- インターネットの情報量が少ない。最終的には電話をしないとイケない。

【案内表示】

- 高齢で眼なども悪くなってくるので、分かりやすい案内表示を考えてほしい。
- 分かりやすい案内表示よりその人その人に合わせた人による案内が、一番分かりやすいと思う。

【窓口対応】

- 老人には特にやさしく対応される事を望む。
- 市役所の方々の親切な対応が気持ち良く生活するための一つだと思う。

意識に関する意見

【啓発活動】

- 大勢の市民へユニバーサルデザインに関する様々な情報を十分に提供し、意識付けを深めること。
- 箱物をどう作成しても運用するのは人であるので、市の職員の意識向上から取り組むべきである。
- 施設が向上しても利用する市民のモラルが低くは無駄になりかねない。市民全体のモラルの向上を望む。

【人材育成・教育】

- 今の世の中、思いやり、心配りの教育が非常に欠けている。わがままで、恥じらいを忘れた子どもに思いやりや社会のマナーを教育する。また、子どもの教育は親が親らしくあるべきである。
- まちづくりの基本は地域であると思うので、地域活動が活発になるように取り組んでほしい。
- 物質よりも人が人にやさしいまちづくりの方が大切である。施設の面で多少不便でも手助けがあれば、それほど不便を感じないと思う。障がい者の方達をまだ避けている人が多いと思う。無理強いするのではなく、さりげなく手助けが出来る教育をして頂きたい。

その他意見

- 健常者の人が考える使いやすさと、障がい者の人が考える使いやすさとは大きな違いがある。健常者が考える使いやすさを推しすすめるのではなく、障がい者、車いすの人がどう使いやすいのか、人の目を気にせず使用できるのかを考えた方がいいと思う。
- バスや電車でも譲り合いが大切だと思う。私も思っているもなかなか行動に出せないが、「思いやり」が大切だと思う。「自分が良ければ・・・」ではなく、体に負担がある方の事を考えて、行動する必要があると思う。
- ケガをして松葉杖を使う、妊婦になる、小さな子供を連れて出歩く等の状態になった時、はじめて気づく事がある。段差や、赤ちゃん用のトイレ、授乳室の有無など便利だと思っていた世の中が、なんて不便なんだと急に思えたりする。このような時に、施設などあちこちに投書箱のようなものがあれば、気持ちを伝えやすいのではないかと思う。
- 一般の人はあらさがしのように不満ばかりいうと思うが、多くの方が今よりすみやすくなる世の中をのぞんでいると思う。アンケートに参加して楽しかったし、子どもにお年寄りに幸せな未来につながればいいなと思った。がんばってください。

岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針

平成22年3月

発行：岐阜市企画部企画調整課

住所：〒500-8701 岐阜市今沢町18番地

電話：058-265-4141（代表）